



新しい年度へ

2021年も残すところ1ヶ月となりました。今年の始まりはコロナウィルスの感染拡大傾向にあったものの、何とか平常の生活が出来ておりました。2月以降はまん延防止等重点措置に入り、緊急事態宣言など9月まで活動の制限が続きました。10月以降は感染減少により緊急事態宣言の全国解除となり、さらに11月以降は飲食の制限もほぼなくなって平常時の生活が戻りつつある状況となりました。今後も予断を許さない状況ではありますが、感染者数が少ない状況が続く、年内はこのまま収まって頂くことを願うばかりです。来年の感染状況は何とも言えませんが、感染者数が少ない状況が続くよう、引き続き感染予防の徹底を私も含め皆様にもご協力の方をよろしくお願い致します。

第53期は上期からコロナ禍の中での活動で、制限がありながらも皆様のご協力により無事終わることが出来ました。売上げの方は前期と比べ大きく減ってしまいましたが、皆様のご協力により収益の方は何とか確保出来る状況となりました。1年間ありがとうございました。

今月から第54期となる新たな年度が始まりますが、来年のこの時期を良い結果で迎えられよう取り組んでまいりたいと思いますので、計画達成となるよう皆様には引き続きご協力の方をお願いできればと思います。

それでは新年度となる第54期、そして2021年残り1ヶ月、体調管理には十分気を付けて頂き、今月もどうぞよろしくお願い致します。

社長 太田 聡
 編集担当：島

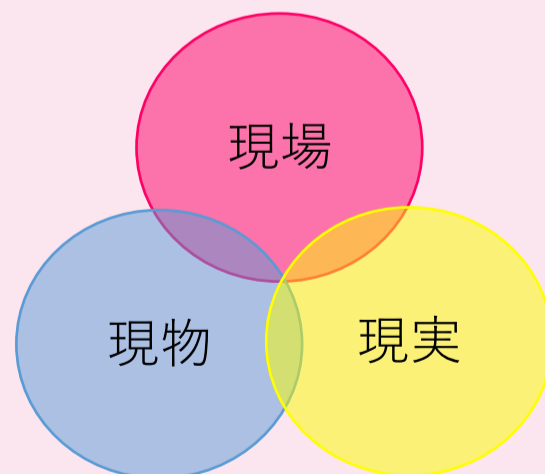
ポカミス防止策のポイント(第2回)

先月はポカミス防止策のポイントとして「1. 真因追及」と「2. 再発防止策」について説明しました。第2回として、引き続きポカミス防止策のポイントを説明していきます。

3. 三現主義

三現主義とは、現場・現物・現実の3つの「現」を重視する考え方。問題（ポカミス）が発生した現場で、問題になっている現物を見て、問題になっている現象（現実）を確認する。ポカミスによる問題であれば、問題発生から時間がたつにつれ、当事者の記憶が薄れ、真因追及が難しくなります。

情報社会になって、ほしいデータは現場に行かずとも瞬時に手に入るようになりました。机に向かって考えている「机上の空論」の状態では、現場で起きていることや問題の本質を見出しにくくなります。現場に行って、現物を手に取り、現実を直視することで初めて分かることもあるため、三現主義は課題解決に重要なプロセスです。



ポイント	①真の原因（問題点）を追求するには現場で問題になっている現象を確認することから始める。 ②作業者と一緒に意見を交わすことで、より良いポカミス防止策が立案され、実行される。
------	--

次回も、引き続きポカミス防止策のポイントを説明します。

中学生が職場体験！

2021年11月10日、磐田市の中学校の生徒2名が職場体験で来社しました。文部科学省の職場体験ガイドの紹介と共に、学生がアポロ電気ですべて体験した作業を紹介します。

・職場体験とは

職場体験とは、生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、実際に職業や仕事について体験したり、働く人々と接したりする学習活動となります。

・職場体験が求められる背景

職場体験が求められる背景として、子どもたちの生活や意識の変容、学校から社会への移行をめぐる様々な課題、そして、何よりも望ましい勤労観、職業観を育む体験活動等の不足が指摘されています。

・職場体験の必要性

職場体験には、生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通じて、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させることが求められています。また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできる教育活動として、重要な意味を持っています。

・アポロ電気での職場体験

アポロ電気では、管理室、購買部、製造部、技術開発部、品質保証部の仕事を体験しました。製品の一部を組み立てたり、工具や測定器の使用方法を学んだり、真剣な眼差しで説明を聞き、作業する中学生の姿勢(意気込みや態度)を見ることにより、社員のみなさんも良い刺激を得られたのではないのでしょうか。



▲製造部(北棟)での作業の様子



▲品質保証部で工具の説明



▲技術開発部で測定器の説明

参考：文部科学省ホームページ(<https://www.mext.go.jp/>) 中学校職場体験ガイド

編集担当：島

13徳目から学ぶ、未来の自分

全2回に渡ってベンジャミン・フランクリンをご紹介しましたが、今月号が最後になります。

前月号で触れた『13徳目』、フランクリン自らが貫くべき信念を、節制／沈黙／規律／決断・・・といった13の項目にまとめていました。(13項目すべて紹介できない為、調べてみてください)13徳目を活かしたツールを使って、今の私たちの日常に定着させるためにどうすればよいのか。2021年も師走なので来年2022年に向けて目標を立てるときの参考にしてみてください。

1. 【自分が今年1年で成し遂げたいこと】

誰か他の人に自分の今年の目標を説明するという前提で簡単に絵を描いていく。

2. 【みんなに話す】

絵を使って何人かに「今年自分が目指すのは、こういう目標」という説明を行う。みんなからの意見や疑問などを受け、目標がより洗練され、明確になる。

3. 【変えなければいけない行動の洗い出し】

現状の自分のダメな行動を挙げ、変えたい、強めたい行動を項目別書き出す。

4. 【達成(毎日)の出来る基準を決める】

具体的な判断基準を決める。予め基準を決めておけば楽に毎日記録出来る。

5. 【リスト化する】 例⇒

毎日終業の5分前になったら1日を振り返り、記録するなど習慣化する。週末になったら今週はどうだったか1週間を振り返る。

なりたい自分へ毎日前進することが出来ると思います。

目標を定着させ、習慣に落とし込んでいくフランクリンの『13徳目』を活用したアプローチでした。

この『13徳目』は二ノ宮金次郎の『報徳仕法』と通ずるところもあり、非常に興味深いです。時代の流れもあつてか二ノ宮金次郎の像は消えつつあるみたいです。理由としては『歩きスマホ』が連想される、『勤労少年』は時代にそぐわないなど。そんな二ノ宮金次郎の偉業、次号からご紹介します。

ベンジャミン・フランクリンの目標管理							
	月	火	水	木	金	土	日
① 節制	●						●
② 沈黙		●					●
③ 規律					●		
④ 決断				●			

編集担当：横井

編集担当より

2021年もあと1ヶ月となりました。コロナ禍第5波の8月のピークから9月～11月に感染者が急激に減少してきています。

12月のクリスマス・年末年始期間については、第6波が来るという予測から、まだ感染者はそれほど増えないという予測まで、さまざまな見解があり、どうなるか見通しにくい状況になっています。

気が緩みがちなこの時期、感染対策をしっかりと守って過ごしましょう。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898

URL:<http://www.apollo-elec.co.jp>

編集担当：管理室

発行日 令和3年12月1日